

- 26 だれもおまえから石を取って、 要の石とする者はなく、 礎の石とする者もない。 おまえは永遠に荒れ果てた地となる。 —【主】のことば。】
- 27 この地に旗を掲げ、国々の中で角笛を鳴らせ。 バビロンに向けて国々を聖別せよ。 バビロンに向けて王国を召集せよ。 アララテ、ミンニ、アシュケナズを。 バビロンに向けて司令官を立て、 群がるバッタのように、馬を上らせよ。
- 28 バビロンを攻めるため国々を聖別せよ。 メディアの王たち、 その総督やすべての長官たち、 その支配にある全土の民を。
- 29 地は震え、もだえる。 【主】はご計画をバビロンに成し遂げ、 バビロンの地を 住む者もない荒れ果てた地とされる。
- 30 バビロンの勇士たちは戦いをやめ、 岩の中に座り込む。 彼らの力は干からびて、 女たちのようになる。 その住まいは焼かれ、かんぬきは砕かれる。
- 31 飛脚はほかの飛脚に走り次ぎ、 使者もほかの使者に取り次いで、 バビロンの王に告げて言う。 「都は、くまなく攻め取られ、
- 32 渡し場も取られ、湿地も火で焼かれ、 戦士たちはおじ惑っています」と。
- 33 イスラエルの神、万軍の【主】が、 こう言われるからだ。 「娘バビロンは、 踏まれるときの打ち場のようだ。 もうしばらくで、刈り入れの時が来る

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年8月14日(日)

礼拝メッセージノート

「バビロンへの預言V～異邦人への裁き⑦」

| エレミヤ書講解-95 エレミヤ書51:15~33 小野寺 望 牧師

【エレミヤ書 51章】

- 15 主は、御力をもって地を造り、 知恵をもって世界を堅く据え、 英知をもって天を張られた。
- 16 主の御声に、天では水のざわめきが起こる。 主は地の果てから雲を上らせ、 雨のために稲妻を造り、 ご自分の倉から風を出される。
- 17 すべての人間は愚かで無知だ。 すべての金細工人は、彫像のために恥を見る。 その鑄た像は偽りで、その中には息がない。
- 18 それは空しいもの、物笑いの種だ。 刑罰の時に、それらは滅びる。
- 19 ヤコブの受ける分は、このようなものではない。 主は万物を造る方。 イスラエルは主のゆずりの民。 その御名は万軍の【主】。
- 20 「あなたはわたしの鉄槌、戦いの道具だ。 わたしはあなたによって国々を砕き、
- 21 あなたによって諸王国を滅ぼす。 あなたによって馬も騎手も砕き、
- 22 あなたによって戦車も御者も砕き、 あなたによって男も女も砕き、
- 23 あなたによって年寄りも若い者も砕き、 あなたによって若い男も若い女も砕き、
- 24 あなたによって牧者も群れも砕き、 あなたによって農夫もくびきを負う牛も砕き、
- 25 あなたによって総督や長官たちも砕く。
- 24 わたしはバビロンとカルデアの全住民に対し、 彼らがシオンで行ったすべての悪に、 あなたがたの目の前で報復する。 —【主】のことば—
- 25 全地を破壊する、破壊の山よ。 見よ、わたしはおまえを敵とする。 —【主】のことば— わたしはおまえに手を伸ばし、 おまえを岩から突き落とし、 おまえを焼けた山とする。

◆ はじめに

1.3年ぶりの行動制限のないお盆を迎えて

2.お盆と仏教 ～日本における特有の習慣

*人々の霊の目が開かれることを祈って・・・

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 偶像を捨て、神の主権を受け入れよ

*このメッセージは、バビロンへの預言から、神の計画の詳細を学ぶものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

I バビロンに対する神の主権（15～26節）

1. 森羅万象の内に見るあるべき信仰

(1) バビロンのむなしさ（10：12～16とほぼ同じ表現）

①天に現れる現象（日食、月食など）に一喜一憂するバビロンへのことば

②バビロンは多神教の帝国であり、多くの偶像が存在した。

*それらはすべて、悪霊との交流の門戸を開くものである。

③科学（天文学）と占い（占星術）と偶像の境があいまいであった。

(2) 神は天地の創造主

①その力と知恵は被造世界を通して啓示されている。

②雲、いなすま、風などの自然現象も、神の力を示している。



2. 偶像よりも素晴らしい神

(1) 偶像とそれを礼拝する者は共にむなしく恥を見る。

①偶像には息もなく、力もない。

②偶像に頼る人たちは、愚かで無知。名匠たちは恥を見る。

(2) ヤコブが信じた神は、無力な偶像のようなお方ではない。

①イスラエルの神は「万物を造るお方」

*ヤコブの受ける分：イスラエルを召し出し、共におられる神。

②イスラエルの神は「万軍の【主】」と呼ばれるお方

3. バビロンを用い、裁く神

(1) バビロンは、諸国を裁く神の器

*「器」として：ここでは神の道具（鉄槌、戦いの道具）と表現される。

(2.) 今度はバビロンがその罪を裁かれる。

①あらゆるものを破壊する。

*諸王国、馬や騎手、戦車や御者、男も女も、年寄りも幼い者も、

牧者も群れも、農夫もくびきを負う家畜も、総督や長官も。

*バビロンとカルデアの全住民が対象

②この裁きは、シオンで行ったすべての悪へに対する、神の報復である。

*神ご自身のみが、復讐を許される主権者。

(3) 「全地を破壊する、破壊の山」

①バビロン帝国を意味し、「山」は王国の象徴。

②バビロンは、永遠に荒れ果てた地となる。

「だれもおまえから石を取って、要の石とする者はなく、礎の石とする者もない。おまえは永遠に

荒れ果てた地となる。」26節

II 諸国への招集命令（27～28節）

1. 3度目の記述

(1) 神が諸国を招集し、バビロンに向かって旗を上げよと命じる。

①これは3度目の記述である。 エレ50：1、51：12

2. バビロンを打つために召された国々

(1) 具体的な都市：①メディア人 ②アララテ（今日のアルメニア）

③ミンニ（今日のイラン西部） ④アシュケナズ（アララテに近い地）など

(2) 彼らは好戦的な民族であり、バビロンを攻撃する軍隊に加えられる。

3. 無数の兵士たちがバビロンを襲う

(1) その光景は、都市を襲うバッタの大群のようである。

(2) それらは神の器であり、聖別（神が取り分ける）されたものである。

III 抵抗する術なく、陥落するバビロン（29～33節）

(1) これらの軍隊がバビロンを攻撃すると、バビロンの兵士たちは戦いを止め、砦の中に逃げ込む。

(2) やがて門のかんぬきは砕かれ、敗戦を告げる飛脚が走り継ぎ、バビロンの王に都が陥落したと伝える。

①王は何等かの理由で国外におり、飛脚が取り次いで王に知らせる。

②大患難時代、大バビロン陥落に伴う預言である。

(3) 神は敗北したバビロンを「打ち場」に例える。

①麦はすでに踏まれ、実と殻に分けるのを待つばかり。

②裁きの時は近い、という神の約束である。

◆ まとめ：偶像を捨て、神の主権を受け入れよ

1. 「神の主権」ということばの大きさ

2. 偶像礼拝のむなしさ：それは神を退けて自己中心に生きることのむなしさ

3. なぜ人々は真の神と偶像の違いに気が付かないのか 2コリ4：4